

ハイパーサーミア用 センサーガイド針

再使用禁止

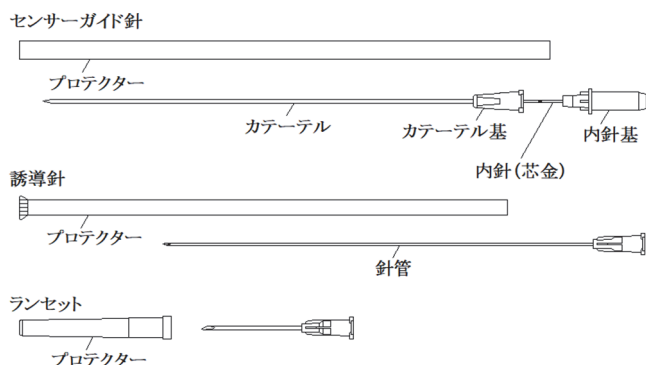
【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

本品は、カテーテルと内針からなるセンサーガイド針、誘導針、ランセットの組み合わせ。

＜構造図(代表図)＞



- 1) カテーテル: フッ素樹脂
- 2) 針管及びランセット: ステンレス鋼(ニッケル・クロム含有)

【使用目的又は効果】

- * 本品は温熱療法の際、深部温度測定用センサー等の保護材として用いる。

【使用方法等】

- 1) 穿刺部位の皮膚を消毒し、局部麻酔薬を注射する。
- 2) ランセットのプロテクターをまっすぐに引いて外す。
- 3) ランセットで皮膚を切開する。
- 4) 誘導針のプロテクターをまっすぐに引いて外す。
- 5) 穿刺ルートを確認する。
- 6) 超音波ガイド下で誘導針を目標部位まで穿刺する。
- 7) 誘導針を抜去する。
- 8) 誘導針の穿刺ルートに超音波ガイド下でセンサーガイド針を目標部位まで刺入する。
- 9) 内針を抜去する。
- 10) カテーテル基から温度センサーを挿入する。
- 11) 固定用テープで皮膚に固定する。

＜使用方法等に関する使用上の注意＞

- 1) 使用の際には、汚染に十分注意すること。
- 2) センサーガイド針は刺入ルートを確認した後、刺入すること。
[カテーテルがフッ素樹脂製のため、目標部位まで刺入できない恐れがある。]
- 3) カテーテル基と内針基が正しくセットされていることを確認の上、使用すること。
- 4) カテーテル及び針管部分には、直接手を触れないこと。
- 5) 各プロテクターを外すときは、カテーテル先端及び刃先が触れないように注意すること。
[刃先が変形し、穿刺性能が低下する場合がある。]
- 6) 穿刺の際は、穿刺ルートを慎重に確認すること。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

プロテクターをリキャップする必要がある場合には、誤刺に注意すること。

＜不具合・有害事象＞

手技に伴い、一般的な不具合や有害事象が発生する恐れがある。有害事象が発生した場合は術者の知見に基づき、適切な処置を行うこと。

- 1) その他の不具合
 - ① カテーテルの折れ
 - ② 針管の破損
- 2) 重大な有害事象
 - ① 感染
- 3) その他の有害事象
 - ① アレルギー反応
 - ② 出血
 - ③ 臓器損傷

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

＜有効期間＞

箱に記載している使用期限を参照のこと。(自己認証による)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造販売業者＞

株式会社八光
TEL 026-275-0121

＜製造業者＞

株式会社八光

発売元:

山本ビニター株式会社
大阪市天王寺区上汐 6-3-12
TEL 06-6771-0605